

メイクル新聞

2023年冬号

編集・発行

社会福祉法人メイクルタウン
 〒六三三ノ〇〇六五
 奈良県桜井市吉備六三八ノ五
 TEL 〇七四四ノ四六ノ一五四三
 FAX 〇七四四ノ四六ノ一五四〇
 メール info-mt@ms5.kcn.ne.jp



2023年11月18日、土曜日。今年の遠足の行き先は、法隆寺です。前から楽しみにしていたのですが、天気予報を見ると、午前中は雨、午後から曇りという感じで、みなさんも、「雨やなあ、寒いかなあ。」と不安な様子でした。

当日になっても予報どおり、朝は雨。それでも午後から雨が上がるのならば決行することにしました。

それぞれの車に乗りこみ、昼食場所まで小一時間のドライブです。外は雨。時おり強風が吹いたり、稲光が見えたりで、景色を楽しむことはできませんでしたが、みんなと話をしたり、懐メロイントロクイズをしたりして過ごしました。



昼食は法隆寺近くの「うなぎの川はら」でひつまぶしをいただきます。ひつまぶしは初めて食べるという人が多く、店員さんに「一膳目はそのまま、二膳目は薬味をかけて、最後は薬味とお出汁をかけて」と教えてもらい、それぞれの味の違いを楽しみました。

食事をいただいている間も、雨は降り続き、食事が終わっても止む気配はありません。とりあえず法隆寺の駐車場まで行って様子をみようということになりました。

駐車場で今回ガイドを務めてくださる、素敵な帽子をかぶった首藤さんと合流し、法隆寺の南大門をくぐると、いいタイム



雨が止んでいたのと、首藤さんの「今しか見られないですよ。」の言葉で、当初予定していなかった、東院伽藍の夢殿まで足を伸ばそうということになり、秘仏の「救世観音」も見ることができました。

気温が低くて、風も強く、とても寒い一日でしたが、集合写真を撮るときには青空ものぞき、みなさんと笑顔で写真におさまることができました。

連載企画 職員のおつぶやき(第二十二回)

これからのわたし

増田 真衣

はじめまして。今年8月20日に入社した新入職員の増田真衣(ますだまい)です。

まずはじめに少しか自己紹介をさせていただきます。

私は、平成7年9月27日に4人兄妹の末っ子として生まれました。幼い頃から少し身体が弱い方で、熱を出したり肺炎になってしまい入院したときもありました。いまだに小さい頃の肺炎の影が少し残っているとされており、軽い喘息も持っているので、風邪などをひくと長引いたり、こじらせてしまうと喘息の症状が出たりします。

私には父がいません。父は、私が小学2年生の時に大腸がんという病気で亡くなりました。父が亡くなってからの生活は、すごくつらい日々でしたが、私たち4人兄妹を母が1人で育ててくれた姿を見てきて、なるべく負担をかけないように、少しでも助けてあげられるようにと思い、中学生のときは学校終わりに新聞配達のパイトをし、高校生活でもずっとパイトをする日々でした。卒業してからも、大学などに行くという選択肢は全くなく、生活を助けるために就職し、社会人となりました。

将来のことを考えるとき、父の病気期間の影響もあり、医療系のお仕事に就きたいと考えていました。誰かの役に立ったり、サポートをしたいと思っていました。

縁があり、歯科での助手というお仕事に出会いました。色々な業界用語や機材など、覚えることがたくさんありました。先生や衛生士さんのサポートをする立場、患者様と先生との間の橋渡し役として、コミュニケーションの取り方などもたくさん学びました。その分たくさん失敗もし、怒られることもありましたが、日々の成長の中で任せて

もらえる仕事も増え、審美部門でのコンシェルジュというお仕事の資格も取らせていただきました。たくさんの方たちと関わるようになり、元々人見知りな私でしたが、明るい性格に変わり、思ったことも飲み込まず少しずつ発言できるように成長することができました。

事情があり約10年間勤めてきた歯科助手のお仕事を辞めることになりました。次の仕事を探していたところ、どんな仕事に合っているのか、もっと人のサポートができる仕事はないのかと考えていた時に、メイクルタウンの求人が目にとまりました。仕事内容に興味を持ち、すぐに応募しました。支援という形で色々な障害を抱えている方たちのサポートができ、これからの自分の成長に必要なのではないかと感じました。なぜなら、甥が発達障害を抱えているからです。甥と関わる中で、どう接してあげればいいのか悩むときがあります。

世界中にも、様々な障害を抱えて暮らしている方がたくさんいると思います。そんな中で、私にできることはどれほどあるのだろうと考えながら、日々新しいお仕事に取り組んでいます。

メイクルタウンで働き始めて3ヶ月程になりますが、スタッフや利用者様からいろんな話を聞かせていただき、新しく学ぶこともあります。また時には、忙しく作業をしながらも皆様と笑い声をあげることもあり、間違っていることや分からないことは教えて下さったりと色々なことを経験することができています。

これからメイクルタウンの利用者様と共に成長し、皆様にとって過ごしやすい職場づくりを心がけ、頑張っていきたいと思っています。

初めての職種ということもあり、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、応援していただけると嬉しいです。